

中学校 音楽

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問①～大問②については、記述式解答用紙に、
大問③～大問④については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に名前を記入し、受験番号を右の記入例に従って、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。※1
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。※2
- 4 大問③～大問④については、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の下にある数字のうち一つを次の〔解答例〕のように黒くぬりつぶしてください。
間違っぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。
二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。

マーク式解答用紙
受験番号記入例 ※1

受験番号記入欄									
位	十	百	千	万	千	百	十	千	一
数字で記入	1	9	8	3	7	5			
右の欄に受験番号をマークして下さい。	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○

記述式解答用紙
受験番号記入例 ※2

受験番号	1 9 8 3 7 5
------	-------------

解答欄記入例

〔解答例〕 ② 日本の首都はどこか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 京都 2 奈良 3 東京 4 名古屋 5 大阪

この場合、最も適切と思われる答えが「3 東京」であれば、解答用紙の解答番号 の下に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶせばよいのです。

④
○
○
●
○
○

- 5 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 これから放送されるア～カの音楽を聴いて、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) ア～エの楽曲名と作曲者名を記せ。

(2) ① オの曲名を記せ。

② オで使用されている楽器名を記せ。

(3) カの音楽に関連のある国または地域を下の語群から一つ選び、解答用紙に記号で記せ。また、使用されている撥弦楽器名を記せ。

(語群)	A インドネシア	B ウクライナ	C 朝鮮半島
	D チロル地方	E アンデス地方	

2 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 次の総譜は、交響曲第5番ハ短調作品67「運命」(ベートーヴェン作曲)の冒頭の部分である。

総譜を見て、以下のア、イの問いに答えよ。

A **Allegro con brio**

Flute I . II

Oboe I . II

Clarinet I . II
in B^b

Bassoon I . II

Horn I . II
in E^b

Trumpet I . II
in C

Timpani
in C . G

B **Allegro con brio**

Violin I

Violin II

Viola

Cello

Contrabass

ア Aの部分（1小節目～5小節目）について、解答用紙の総譜の全パートに拍子記号及び調号を記入し、全休符を記していない小節に、以下に示す音符や記号の中から必要なものを使用して適切な総譜として完成せよ。

【音符や記号】

全音符、二分音符、四分音符、八分音符、全休符、二分休符、四分休符、
八分休符、三連符、タイ、ピアニッシモ、ピアノ、メゾピアノ、メゾフォルテ、
フォルテ、フォルティッシモ、フェルマータ、a 2

イ Bの部分を用いて、リコーダーアンサンブル用の楽譜を作成する。使用する楽器は、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、テナーリコーダーとし、解答用紙の五線譜に記入せよ。

なお、調性は、イ短調に移調すること。

(2) 次の楽曲を箏で演奏する。解答用紙の縦譜を完成せよ。なお、調弦については平調子とし、第一弦を一点二音とする。



3 次の(1)～(15)の問いに答えよ。

(1) 次の楽器のうち、シングルリードを使用する楽器として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 オーボエ
- 2 ファゴット
- 3 箏箏
- 4 イングリッシュホルン
- 5 サクソフォーン

(2) シューベルト作曲のピアノ五重奏曲「ます」の楽器編成として、適切なものを1～5から一つ

選べ。解答番号は

- 1 ピアノ、1st.ヴァイオリン、2nd.ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
- 2 ピアノ、フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
- 3 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
- 4 ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット
- 5 ピアノ、フルート、1st.ヴァイオリン、2nd.ヴァイオリン、チェロ

(3) 一般にイタリアオペラに区分されるオペラ作品として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 魔弾の射手
- 2 イリス
- 3 ばらの騎士
- 4 スペードの女王
- 5 こうもり

(4) 舞曲の説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 サラバンドは、3拍子の舞曲であり、14世紀のヨーロッパで流行した。起源はメキシコとも言われている。
- 2 ガヴォットは、17世紀のフランスにおいて、オペラやバレエに用いられた。J. S. バッハなど多くの作曲家が組曲に取り入れた。
- 3 メヌエットは、17世紀半ばのフランス宮廷において、宮廷舞踏に取り入れられ、全ヨーロッパに広まった。
- 4 マズルカは、ポーランド舞曲をさし、ショパンなどの作品がよく知られている。
- 5 ワルツは、19世紀のウィーンで流行した3拍子の舞曲であり、現代においても親しまれている。

(5) アルス・ノヴァの説明として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 フィリップ・ド・ヴィトリが15世紀に著した理論書の標題である。
- 2 アルス・ノヴァを代表する作曲家に、ジョスカン・デプレがいる。
- 3 古い技法という意味であり、13世紀～14世紀のポリフォニー音楽をさす。
- 4 一般に14世紀イタリアの音楽をさす用語である。
- 5 代表的な作曲技法として、リズム定型を組み合わせたアイソリズム(イソリズム)を用いている。

(6) グランドピアノの説明として、最も適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ピアノは、ピアノフォルテの略称である。
- 2 和声楽器と旋律楽器の両面の要素を備えている。
- 3 ピアノの先行楽器としては、クラヴィコードやハープシコードがある。
- 4 ペダル機構を備えており、むかって右側のペダルはシフティングペダルと呼ぶ。
- 5 標準的なピアノの鍵盤の数は、黒鍵36、白鍵52の88鍵である。

(7) パッヘルベル作曲の「カノン」のコード進行として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 D → A → F[#]m → G → D → G → A → A₇
- 2 D → G → A → G → D → G → A → A₇
- 3 D → A → Bm → F[#]m → G → D → G → A
- 4 D → G → A → D → Bm → G → D → G
- 5 D → A → F[#]m → Bm → G → D → G → A

(8) リトミックは、エミル・ジャック・ダルクローズによる音楽教育法である。リトミックやダルクローズの説明として、最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 リトミックは、舞踏や演劇の分野でも取り入れられている。
- 2 ダルクローズは、フランスの音楽教育家、作曲家である。
- 3 ダルクローズの代表的な作曲作品は、「ハーリ・ヤーノシュ」である。
- 4 ダルクローズの「子供のための音楽」は、日本をはじめ世界各国の音楽教育に影響を与えた。
- 5 リトミックは、歌うことを音楽指導の基礎とし、民謡と芸術音楽の両方を用いる。

(9) 20世紀ヨーロッパにおける作曲家やその作品について記述した文章として、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

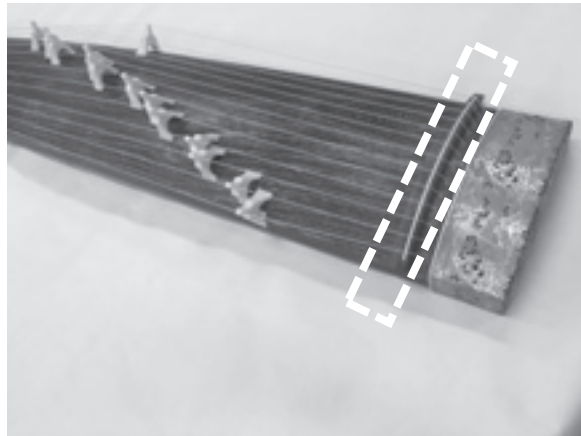
- 1 シェーンベルクの「月に憑かれたピエロ」では、声のパートはシュプレッヒシュティンメで朗誦する。
- 2 ベルクの「ヴォツェック」は、20世紀の代表的なオペラとして評価されている。
- 3 ヴェーベルンは、シェーンベルクやベルクらとともに十二音技法を用い、彼の作曲した作風は神秘主義と呼ばれた。
- 4 ブレーズンの代表作には、6人のソリストと室内オーケストラとライブ・エレクトロニクスのための「レポン」がある。
- 5 メシアンは、鳥のさえずりを音符で書き、これらの書き写しを楽曲の素材として用いた。

(10) 箏における調弦法と、その調弦法を用いた際に同じ高さの音になる弦名との組合せとして、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

	(調弦法)	(弦名)
1	平調子	一と五
2	乃木調子	二と五
3	平調子	二と五
4	乃木調子	一と三
5	平調子	五と十

(11) 次に示す箏の写真の白い点線で囲った部分の名称として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 竜頭 2 竜甲 3 竜尾 4 竜舌 5 竜角



(12) 箏の演奏法に関する説明として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 生田流では角爪を使用するため、箏に対して身体を少し斜め左向きに座って演奏する。
- 2 山田流では角爪を使用するため、箏に対して身体を正対して座って演奏する。
- 3 生田流では丸爪を使用するため、箏に対して身体を少し斜め左向きに座って演奏する。
- 4 山田流では丸爪を使用するため、箏に対して身体を少し斜め右向きに座って演奏する。
- 5 生田流では丸爪を使用するため、箏に対して身体を正対して座って演奏する。

(13) 雅楽において、主旋律を担当する楽器として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

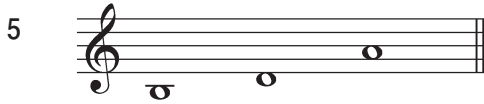
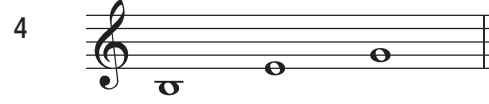
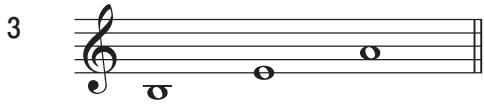
- 1 琵琶 2 箏 3 箏 4 鉦鼓 5 笙

(14) 能における囃子で、使用する楽器として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 笛（能管） 2 小鼓 3 大鼓 4 太鼓 5 釣り太鼓

(15) 三味線の調弦で、三下りの調弦における、一の糸、二の糸、三の糸の音として、適切なものを1～5から一つ選べ。但し、一の糸の音を口音とする。解答番号は



4 「中学校学習指導要領（平成20年3月告示）」並びに「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 音楽】（平成23年11月）国立教育政策研究所」に関する内容について、次の（1）～（8）の問いに答えよ。

（1）「中学校学習指導要領 第2章 第5節 音楽 第1 目標」について、空欄に当てはまる内容として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、、豊かな情操を養う。

- 1 音楽文化についての理解を深め、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を育てるとともに
- 2 音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を育てるとともに
- 3 音楽に対する感性を豊かにし、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化についての理解を深め、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし
- 4 音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め
- 5 音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、音楽を愛好する心情を育てるとともに

（2）「中学校学習指導要領 第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕 2 内容〔共通事項〕（1）ア」の内容として適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 音楽を形づくっている要素を指導し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を知覚・感受すること。
- 2 音楽を形づくっている要素の働きが生み出す特質や雰囲気を知覚・感受し、音楽活動を通して理解すること。
- 3 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を感受し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を知覚すること。
- 4 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を指導し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を知覚・感受すること。
- 5 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。

(3) 評価の観点名の一つとして適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 音楽の知識・理解
- 2 音楽表現の思考力・判断力・表現力
- 3 音楽への関心・意欲・態度
- 4 鑑賞の知識・理解
- 5 音楽表現及び鑑賞への態度

(4) 音楽を形づくっている要素の中で、「音と音とが同じ時間軸上で垂直的にかかわったり、時間の流れの中で水平的にかかわったりして、織物の縦糸と横糸のような様相で様々な音の織りなす状態が生まれる」ことを何というか。最も適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 拍の流れ
- 2 和音
- 3 形式
- 4 構成
- 5 テクスチャ

(5) 「中学校学習指導要領 第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕2 内容 A 表現 (3) 創作の活動を通して、次の事項を指導する。イ」の内容として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対象などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。
- 2 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対象などの構成を工夫しながら音楽をつくること。
- 3 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。
- 4 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。
- 5 即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験を重視して音楽をつくること。

(6)「中学校学習指導要領 第2章 各教科 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に示されている共通教材の一つ「浜辺の歌」(林 古溪 作詞)について、以下のア、イ、ウの問いに答えよ。

ア この作曲者に関する記述として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 「いぬのおまわりさん」(佐藤 義美 作詞)を作曲した。
- 2 「かなりや」(西篠 八十 作詞)を作曲した。
- 3 「紅葉(もみじ)」(高野 辰之 作詞)を作曲した。
- 4 「めだかの学校」(茶木 滋 作詞)を作曲した。
- 5 「かわいい魚屋さん」(加藤 省吾 作詞)を作曲した。

イ この曲が作曲された頃に最も近い出来事として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 團 伊玖磨が「花の街」を作曲した。
- 2 ヴェルディがオペラ「アイーダ」を作曲した。
- 3 文部省が音楽取調掛を設け、伊沢 修二が音楽取調掛の御用掛となった。
- 4 フォスターが「主人は冷たい土の中に」(静かに眠れ)を作曲した。
- 5 鈴木 三重吉が、童話と童謡等を掲載した児童雑誌『赤い鳥』を創刊した。

ウ この曲を、授業で扱う際、旋律の最高音を二点ハにするには、何調にすればよいか。適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ハ長調
- 2 変二長調
- 3 変ホ長調
- 4 ヘ長調
- 5 ト長調

